



「迫りくる巨大地震に備える」



～東南海-南海地震・直下型地震から身を守るために～

3年前に発生した東日本大震災では、我が国は非常に大きな犠牲を払うことになりました。教訓として、災害を迎え撃つ社会であること、平時から災害に対する備えを行なうことが不可欠であることが広く伝わりました。備えとして、災害について学び、我が身をどう守るか考えることが含まれています。

西日本の南側沖合にある南海トラフでは、フィリピン海プレートが年間数 cm の速度で日本列島の下に沈み込み、およそ百年単位の周期で巨大地震が発生していることがよく知られています。最後の南海地震からほぼ 70 年が経過し、近い将来に再度発生するという予測が行なわれています。また、直下型地震では 1995 年阪神・淡路大震災や 2004 年新潟県中越地震、2007 年能登半島地震 2008 年岩手・宮城内陸地震など、多くの地震が発生し、取り返しのつかない震災につながることを我々は何度も経験してきました。

海溝型巨大地震や直下型地震について知り、過去の教訓に学ぶことが必要です。大地震発生から甚大な被害がもたらされるだけでなく、復興に長い年月が必要となります。災害を軽減し、復興に必要な時間をできるだけ短くすることは人間の英知をもってすれば可能です。平時から地震に対する事前の備えを行うことがいかに大切かをお伝えしたいと思います。

主催：芦田 譲 NPO法人 環境・エネルギー・農林業ネットワーク理事長 (EEFA) ・京都大学名誉教授
三ヶ田 均 京都大学 工学研究科教授
平原 和朗 京都大学 理学研究科教授
飯尾 能久 京都大学 防災研究所教授
共催：京都大学

日時：2014年3月31日（月）13:00-17:30（受付12:30-）

講演会場：百周年時計台記念館 1F 百周年記念ホール（京都大学吉田キャンパス正門正面）

参加無料、資料1,000円（希望者に頒布）

懇親会場：カンフォーラ（京都大学吉田キャンパス正門左）

懇親会費5,000円（先着限定100名様）

<プログラム>

総合司会：京都大学工学研究科教授 三ヶ田 均

12:30- 受付開始

13:00-14:00 「災害レジリエンス（国土強靱化）と国づくり」

関西大学社会安全学部センター長、京都大学名誉教授 河田 恵昭

14:00-14:45 「東北地方太平洋沖地震と南海トラフ巨大地震 -超巨大地震の時代-」

京都大学理学研究科教授 平原 和朗

14:45-15:30 「内陸地震の発生の仕組みと発生予測」

京都大学防災研究所教授 飯尾 能久

（休憩）

15:40-16:25 「地震による都市域の斜面災害」

京都大学防災研究所教授 釜井 俊孝

16:25-17:10 「地震考古学から見た21世紀の大地震 -京都も激しく揺れるのか-」

産業技術総合研究所客員研究員 寒川 旭

17:10-17:30 「総括」

NPO法人 EEFA 理事長、京都大学名誉教授 芦田 譲

18:00-20:00 懇親会

参加を希望される方は裏面の申込用紙に記入いただき、

NPO法人 環境・エネルギー・農林業ネットワークへ E-mail または Fax にてお申込下さい。

NPO 法人 環境・エネルギー・農林業ネットワーク 行

(E-mail: office@eefa.jp, FAX: 075-204-2282)

申込日 月 日

<p>「迫りくる巨大地震に備える」 ～東南海-南海地震・直下型地震から身を守るために～ 講演会 参加申込書</p>	
[申込者情報]	
(ふりがな) お名前	()
ご自宅市町村名またはご所属	
ご連絡先 (e-mail または電話番号)	
[参加種別]	
講演会 (参加無料)	参加 / 不参加
資料頒布 (¥1,000)	希望する / 希望しない
懇親会 (¥5,000) *先着 100 名まで	参加 / 不参加
協賛展示：1 出展者当たり最大 2 区画、先着順 12 区画。当日頒布資料に協賛団体・個人名を掲載。 決済条件：振込払 (締切 3/10/2014, 振込手数料 振込人負担) 区画詳細：ポスターボード 1,400mm×900mm、テーブル 600mm×900mm、電源及び椅子無し。	
展示 (1 区画¥10,000)	1 区画 / 2 区画

<会場詳細>

京都大学吉田キャンパス

講演会場：百周年時計台記念館 1F
 百周年記念ホール

懇親会場：カンフォーラ (正門構内左側)

申込先：NPO 法人 環境・エネルギー・
 農林業ネットワーク

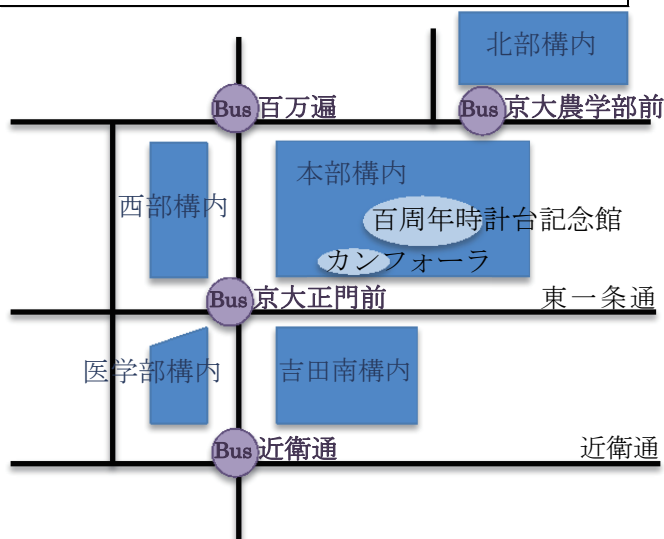
TEL: 075-204-7128

FAX: 075-204-2282

E-mail: office@eefa.jp

*参加証の発行はありません。この申し込み用紙を当日ご提示下さい。

(メールでのお申し込みの場合は、プリントアウトしたものをご提示下さい。)



<事務局使用欄>

受付日	受付 No.	学内 / 学外
-----	--------	---------